

鳥取県校友会設立100周年 記念式典・記念祝賀会

昨年6月頃、平林 律 県校友会専務理事（84回）がふとしたきっかけで本県校友会の歴史を調べたところ、本県最初の卒業生の平林秀高会員（4回）の資料が見つかり、今年、本県校友会は設立100年を迎えることが分かった。そして理事会を開催し「鳥取県日本歯科大学校友会設立100周年事業」として、設立100周年の記念式典並びに記念祝賀会を開催し、記念誌を発行することを決定した。この時より、宮崎 章 県校友会会長（67回）の号令のもと、平林専務を中心に県校友会員一丸となり取り組んだ。

●鳥取県校友会設立100周年記念式典 ならびに記念祝賀会開催

令和元年6月29日（土）午後5時より「ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰西の間」において、「鳥取県日本歯科大学校友会設立100周年記念式典・記念祝賀会」が平林専務理事の司会進行により開催された。はじめに、吉田章二県校友会副会長（68回）より開会の辞があった。続いて、宮崎県校友会会長より主催者挨拶が行われた。



鳥取県校友会設立100周年記念式典・記念祝賀会 令和元年6月29日 於 ホテルニューオータニ鳥取



宮崎県校友会会長



中原理事長



近藤校友会会長

<主催者挨拶>

最初に中原 泉 理事長・学長・校友会会頭、近藤勝洪校友会会長をはじめご臨席いただいた先生方に謝辞を述べられた。次に鳥取県校友会の歴史についてふれ、1919年に平林秀高先生が米子市で開業され、その年平林先生を含めた4名の校友により、鳥取県校友会が設立されたことを述べられた。

また、校友のエピソードとして平林先生のご子息である克之先生（35回）が中原 實 本学名誉学長に絵の手ほどきを受け、歯科医師でありながら画家として個展を開き多くの絵を残されたこと、そして、親交の深かった今田晴隆先生（32回）に送られた大山の絵を壇上に上げ紹介された。

現在のこの絵の持ち主である今田哲哉会員（77回）のお父様は晴隆先生、祖父君は本会の設立者の一人である伊藤丈平先生（8回）であり、ご長男の和隆会員（108回）は今年卒業された。今田家4代すべて本学出身であり、祖父君のご卒業からご長男のご卒業までちょうど100年になることを紹介。最後に、本日は楽しい時間を過ごしていただきたいと

締めくくった。

次に平林専務理事、八幡真司県校友会常務理事（84回）、八幡敏行会員（92回）、伊藤幸太会員（97回）、宮崎章太会員（99回）による100周年記念のリードが披露されたのち、校歌斉唱が行われた。続いて、本県校友会100年の間にご逝去された会員の先生方に弔意黙祷が捧げられた。

この後、来賓としてはじめに中原理事長、続いて近藤会長、高橋英登日本歯科医師連盟会長（66回）、渡部隆夫鳥取県歯科医師会会長、樋口壽一郎日本大学歯学部同窓会鳥取県支部長、田本 晃 東京歯科大学同窓会鳥取県支部長の順にご挨拶をいただいた。

<中原 泉 理事長・学長・校友会会頭挨拶>

県校友会設立100周年、そして現有19名という会員の先生方が、100年の歴史を綴って本日このような記念の会を開かれたことに大変感激し感服していると述べられた。また鳥取県の校友との思い出として、半世紀ほど前の富士見祭で、学生であった 林



記念祝賀会



100周年記念のリード披露

伸伍会員（50回）たちが中心となり、国試不要論をテーマに議論し大変盛り上がった学祭を見て、学生なのにすごい人がいるものだと感じたことなど話され、最後に100周年おめでとうございますと結ばれた。

＜近藤勝洪校友会会長挨拶＞

県校友会設立100周年記念式典並びに記念祝賀会開催についてお祝いを述べられた。そして、歴史は先輩が育み、現役世代がいかに将来へ語り継いでいくかであり、その意味で鳥取県はいい先輩に恵まれ、いい後輩が育っていることが素晴らしいと話された。最後に県校友会設立100周年という素晴らしい会にお招きいただきありがとうございます。とご挨拶された。

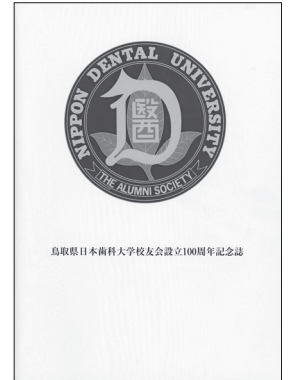
次に来賓の先生方と、ご参加いただいた県内の先生方の各大学歯学部同窓会、校友会名がご紹介された。そして本日参加の県校友会会員の紹介が行われ、続いて祝電披露が行われた。その後、「鳥取県日本歯科大学校友会のあゆみ」と題し、平林専務理事のナレーションのもと、県校友会の歴史がスライドで紹介され、横見由貴夫岡山県校友会会長（64回）による乾杯で祝宴となった。祝賀会が進む中、表彰式が行われ、林会員が県校友会名誉会長に推挙され、今までの功績に感謝状が贈られた。これに対し林名誉会長より謝辞が述べられた。最後に、森田行雄広島県校友会会長（65回）による万歳三唱の後、八幡常務理事による閉会の辞で終了した。



昭和初期の校友会総会（記念誌より）

●鳥取県校友会設立100周年記念誌発行

記念誌の発行は、まずは資料の収集から始まった。古い資料は県校友会にはほとんど残っておらず、校友会本部、県内校友会会員の個人所蔵の資料をお借りして100年の歴史を綴った。特に設立メンバーの伊藤先生が祖父



君である今田会員からは、昔の貴重な写真や、資料をご提供いただいた。その中には、戦中の写真や資料、さらには中原 實 本学名誉学長が伊藤先生の歯科医院においでになった写真などがあった。

また 林名誉会長より提供していただいた写真には、宇賀春雄本学口腔外科学教授が林家を訪問された時の写真や、鳥取県と島根県の合同有志校友会等の貴重なお写真もあり、校友会員一同それを拝見するだけでも、大いに盛り上がり感動し、とても楽しい時間を過ごした。

記念誌は、はじめに県校友会会訓から始まり、宮崎県校友会会長のご挨拶があり、中原理事長並びに近藤会長のご寄稿、林名誉会長をはじめとする県校友会員の寄稿、県校友会100年の歴史、県校友会員のつながり等、当初予定していたものより大変充実したものとなった。

記念誌は各都道府県校友会会長、本部役員の先生方にお送りさせていただいたので、ご一読いただければ幸いである。

最後になりましたが、記念式典並びに記念祝賀会にご臨席いただき、記念誌にご寄稿いただいた中原理事長並びに近藤会長、また、記念式典・祝賀会にご出席いただいた高橋日本歯科医師連盟会長、中国地区各県校友会会長の皆様、そしてこの事業に多大なるご協力をいただいた本学校友会事務局様に心より感謝申し上げます。

（八幡真司・84回記）